

めきと歓び

Chapter
V

歴史のロマンが蘇る義経夢想祭、自然に親しむ桜まつり、夏を彩る港祭り、伝統が息づく秋祭りなどなど、どの祭りにもふるさとを愛する心があふれている。



咲き誇る春

春になると、自然公園でもある恩山寺の裏山は淡いピンクに染まり、大勢の花見客が訪れる。やがて金長神社では、狸が主役の楽しい春祭りの準備が始まる。

- 恩山寺自然公園桜まつり (4月・恩山寺)
- ウォークラリー (4月・日峰公園一帯)
- 金長神社例大祭 (5月・金長神社周辺)



Flowers of each season bloom in Komatsushima City. In each season traditional and enjoyable events are held, such as the "Cherry Blossom Festival," "Kincho Shrine Festival," "Gion Festival," and "Port Festival."

四季のきら



鮮やかに夏

市民が昭和9年の新港完成を祝ったのが港まつりの始まり。以来、海の日になんで毎年海の日とその前日の2日間開催され、港全体は祭り一色に染まる。

- やまもも狩り (6月・櫛漕町)
- 小松島祇園祭 (7月・松島町八坂神社)
- 小松島港まつり (7月海の日とその前日・新港周辺)





彩りの秋

収穫の喜びにわきたつ秋は、天王社の稚児三番叟、
櫛淵八幡神社例祭のやぶさめなど
伝統的な行事が続く。

- 立江祇園囃 (9月・立江町八幡神社)
- 元根井花火大会 (9月・元根井漁港)
- 櫛淵八幡神社例祭 (9月・櫛淵八幡神社)
- 横須花火大会 (10月・横須海岸)
- 天狗しばき (10月・立江町秋葉神社)
- 稚児三番叟 (10月・田野町天王社)



Traditional harvest festivals are held in the autumn. In February when Yoshitsune disembarked the district back long ago; the "Visionary Festival for Yoshitsune" is held, where people in antiquity apparel walk to follow a route the Yoshitsune troops was believed to have taken.



冬のやさしさ

比較的温暖というものの、まだ風の冷たい2月、かつて源義経が小松島市に上陸したのと同じ時期に、義経や弁慶に扮して義経軍が通った道をたどる。

●義経夢想祭（2月・芝生町旗山）

●立江地藏市・植木市（2月・立江寺）

